

不規則変化動詞のまとめ （教科書巻末変化表緑地部分を中心に）

不規則変化動詞のうち重要なものについて、どこがどう変化するのかをもとに便宜的に分類してみた。

1. sein, haben, werden

不定詞	過去基本形	過去分詞	意味
sein	war	gewesen	〈1格〉である、存在する
haben	hatte	gehabt	～を持っている
werden	wurde	geworden/ (worden)	〈1格〉になる

- ◇ 代表的な不規則変化の基本動詞3つ。むろん、3基本形すべてを別々に覚える必要がある。
- ◇ werden の過去分詞は、本動詞として使うときは geworden、受動の助動詞として使うときは worden となる。（⇒教科書 S. 55）

2. 母音だけでなく子音も変化するもの

不定詞	過去基本形	過去分詞	意味
essen	aß	gegessen	～を食べる
gehen	ging	gegangen	（歩いて）行く
schneiden	schnitt	geschnitten	～を切る
sitzen	saß	gesessen	座っている
stehen	stand	gestanden	立っている
tun	tat	getan	～をする、～を行う
ziehen	zog	gezogen	～を引く、移動する

- ◇ 母音が変化するのみならず、過去基本形や過去分詞に不定詞と異なる子音が現れるもの。こちらも3基本形すべてを別々に覚える必要がある。

3-1. 子音はすべて同じ、母音が3基本形ごとにすべて異なるもの（XYZ型）

不定詞	過去基本形	過去分詞	意味
beginnen	begann	begonnen	～をはじめ、はじまる
bitten	bat	gebeten	～に頼む
brechen	brach	gebrochen	～を破る、破れる
finden	fand	gefunden	～を見つける
helfen	half	geholfen	〈3格〉を助ける

不定詞	過去基本形	過去分詞	意味
liegen	lag	gelegen	横たわっている、ある
nehmen	nahm	genommen	～を取る
sprechen	sprach	gesprochen	～を話す、話す
trinken	trank	getrunken	～を飲む

- ◇ やはり3基本形すべてを別々に覚える必要がある。
- ◇ bitten - bat - gebeten や nehmen - nahm - genommen は、母音の長さが変わったこと
によって短母音を示す tt が t になり、長母音を示す h が落ちたにすぎない。
- ◇ beginnen は非分離動詞であり、過去分詞には ge- がつかない。

3-2. 子音はすべて同じ、過去基本形と過去分詞の母音が同じもの (XYY 型)

不定詞	過去基本形	過去分詞	意味
bleiben	blieb	geblieben	とどまる、〈1格〉のままである
fliegen	flog	geflogen	飛ぶ、(飛行機で) 行く
scheinen	schien	geschienen	輝く、〈1格〉に見える
schließen	schloss	geschlossen	～を閉じる
schreiben	schrieb	geschrieben	～を書く、書く
steigen	stieg	gestiegen	登る
verlieren	verlor	verloren	～を失う

- ◇ 不定詞のみ母音が異なるもの。過去分詞 = ge + 過去基本形 + en が成立する。
- ◇ ただし、verlieren は非分離動詞であり、過去分詞には ge- がつかない。

3-3. 子音はすべて同じ、不定詞と過去分詞の母音が同じもの (XYX 型)

不定詞	過去基本形	過去分詞	意味
fahren	fuhr	gefahren	(乗物で) 行く
fallen	fiel	gefallen	落ちる
geben	gab	gegeben	～を与える
halten	hielt	gehalten	～を保つ
kommen	kam	gekommen	来る
lassen	ließ	gelassen	～させる (使役動詞)、～を放置する
laufen	lief	gelaufen	走る、歩く
lesen	las	gelesen	～を読む
rufen	rief	gerufen	～を呼ぶ、～を叫ぶ
schlafen	schlief	geschlafen	眠る
schlagen	schlug	geschlagen	～を打つ

不定詞	過去基本形	過去分詞	意味
sehen	sah	gesehen	～を見る（知覚動詞）
tragen	trug	getragen	～を運ぶ
vergessen	vergaß	vergessen	～を忘れる

- ◇ 過去基本形のみ母音が異なるもの。過去分詞=ge+不定詞が成立する。
- ◇ ただし、vergessen は非分離動詞であり、過去分詞には ge-がつかない。
- ◇ fallen – fiel – gefallen、lassen – ließ – gelassen、vergessen – vergaß – vergessen は、母音の長さが変わったことによって短母音を示す ll が l になったり長母音を示す ß が現れたりしたもの。

4-1. 混合変化（一般動詞）

不定詞	過去基本形	過去分詞	意味
bringen	brachte	gebracht	～を持ってくる
brennen	brannte	gebrannt	～を燃やす
denken	dachte	gedacht	～を考える
kennen	kannte	gekannt	～を知っている（面識がある）
nennen	nannte	genannt	～を名づける
rennen	rannte	gerannt	走る
senden	sandte	gesandt	～を送る
wenden	wandte	gewandt	～の向きを変える
wissen	wusste	gewusst	～を知っている（知識がある）

- ◇ 一般動詞の混合変化はこの9種類しかない。
- ◇ 過去基本形と過去分詞の母音が同じなので（XY型、強変化の2-2に近い）、過去分詞=ge+過去基本形-eが成立する。
- ◇ senden は「～を放送する」の意味のとき、wenden は「～を裏返す」の意味のときは規則変化となることに注意。

4-2. 混合変化（話法の助動詞）

不定詞	過去基本形	過去分詞	意味
dürfen	durfte	gedurft/ (dürfen)	～してよい
können	konnte	gekonnt/ (können)	～できる、～でありうる、～してよい
müssen	musste	gemusst/ (müssen)	～しなければならない、～にちがいない

不定詞	過去基本形	過去分詞	意味
sollen	sollte	gesollt/ (sollen)	～すべきである、～してほしい、～だそうである
wollen	wollte	gewollt/ (wollen)	～したい
mögen	mochte	gemocht/ (mögen)	～だろう、～が好きである

- ◇ 話法の助動詞は、基本的に混合変化をする。
- ◇ ただし、話法の助動詞の過去分詞は、本動詞として使うときは **ge-**のつくもの、話法の助動詞として使うときは **ge-**のつかないもの（不定詞と同じかたち）となる。**werden** と同様の使い分け。